

サクラソウ日記

自学ノート提出数累計
476冊(282人)12/14現在

(自分に自信と夢を~いまをだいに、なかまとともに、一步前進をめざして~) 校長 宮脇真一

例年12月に行っていた持久走記録会は、今年は年明けに行う予定です。その記録会に向け、フレッシュタイムの持久走が、委員会の呼びかけで始まりました。1年ほど前から「体力の向上」については体育学習を中心に取り組んでいるところです。体と「粘り強さ」を伸ばす取組が進んでいます。



鍛える(2023/12/13撮影)

Build back better ~ 一步前進 ~

既にご案内の通り、明日は「ふれあい・夢広がるドリームフェスタ in 大津小学校」を行います。新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、中止が続いていた「ふれあい祭」を再開するにあたり、ただ元に戻るのではなく「一步前進」した形で再開しようと、一年以上前から吉良会長を中心とするPTA執行部と学校とで協議を重ねるとともに、本年度に入ってから児童会の執行部も参画しながら準備を進めてきました。



準備も着々と(左:6年生教室前の「平和宣言」 右:4年生の音楽発表リハーサル)

冒頭の“Build back better”は「創造的復興」という意味をもっています。7年前の熊本地震の折、蒲島知事が使われた言葉でご存知の方も多いかと思えます。私自身は当時県教育委員会に勤務していました。知事が様々な場で話されるこの“Build back better”ということはその背景にある理念に、多くのことを感じながら仕事をしていました。

今回実施する「ふれあい・夢広がるドリームフェスタ in 大津小学校」は、子どもたちだけでなく、保護者、地域の皆さんが学校という場で「無理なく」「得意なこと」を生かしながら交流することで、新時代を担う人材育成のきっかけにしたいという「ねがい」が私にはあります。学年の発達段階に応じて子どもたちの側からの発表や提案があります。4年生は、学年での音楽発表を行います。6年生は平和学習の発表会を行います。地域の皆さんの力をかりて行う「むかし遊び」「はたらく車」「スマート農業」等の学びの場があります。大津高校科学部のワークショップ、7月に実施できなかった「算数サロン」も行われます。

行事への参加に向け、子どもたちは校内での様々な取組を通して「Oimo」ポイントを積み重ねてきました。大人が準備した場に子どもたちが単に「お客さん」で参加するのではなく、自身のはたらきかけで「主体的に」参加していくことを期待しています。

明日は、生涯学習センターもイベントが開催されるため、駐車場は利用できません。